

誇りある  
皆の故郷

# 浅間台



平成24 年度

## 6 月号

学校・家庭・地域が一体となった教育の推進



### 皆が楽しみにしている全校朝会

校長 豊島 呈次

毎週月曜日に行われる「全校朝会」は、子ども達も教員も楽しみにしている時間です。子ども達は目を皿のようにして食い入るように画面を見たり耳を凝らしたりして聴いています。話が終わると大きな拍手が起こり皆満足そうな笑顔になります。

浅間台小学校は、小規模校の利点を生かして、教員も事務も用務主事もすまいるも全教職員が1年に1回「全校朝会」で子ども達に話をします。（この様子は、時々ブログでも紹介をしています。）「全ての教職員が子ども達の先生」という浅間台小学校の経営方針に基づいて、教職員の一人一人のいろいろな生き方や考え方、様々な時代の体験談を聴くことで、校内にいる大人との距離を近づけると共に、自分の将来設計に少しでも役に立てればと企画したものです。子ども達は、話を聞いたりスライドを見たりして、教職員の新たな一面を見て感心したり、また、大人たちに支えられて学校生活を送ったりしていることを実感します。



また、昨年度は、主事から「私は、子ども達の前で何を話したらいいのか悩んでいて、話すのが嫌でしたが、話した後何人もの子ども達から声を掛けられるようになりました。全校朝会で話してよかったと思っています。」と言うコメントを聞きました。

今までに、小学生時代の話。歌や楽器演奏。本の読み聞かせ。自分の趣味。学習クイズや手品。自然に感動した話。車内での出来事。今の仕事への思い…等々、教職員の普段見ることができない一面も見られます。

今年度は、5月に鈴木教諭の「てん」の本の読み聞かせと稲田教諭の「金環日食と宇宙」の話をしました。2人ともスクリーンを使って、子ども達に分かりやすく見やすい工夫をしていました。その後子ども達は、学校図書館に行って本を探したり図鑑で調べたりしているようです。子ども達の興味・関心を広げて自分の疑問を解決したり、将来の自分のやりたいことのヒントに繋がったりしていると感じました。

6月は4日に奥山教諭が25日に西川教諭が8:15過ぎに、全校朝会でお話をします。是非、保護者・地域の方もご参観いただくと、子ども達の楽しんでいる様子をご覧いただければと思います。



区の給食物資・平成24年5月29日報告の放射性物質検査結果が出ました。要素131、セシウム134、セシウム137はいずれも検出されませんでした。安全で安心して給食が食べられます。

本校でも各学年が野菜やお米を今年度も栽培しています。採れた野菜等は専門業者に放射性物質検査を依頼し、問題が無ければ調理・会食を一昨年同様実施する予定です。また、家庭でのお弁当作りも引き続き実施いたします。ご理解ご協力をお願いします。